

# 全木連時報

2月25日(火曜日)  
(第539号) (毎月25日発行)  
平成15年(2003年)

発行所  
社団法人 **全国木材組合連合会**  
編集長 後藤隆一  
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215  
URL <http://www.zenmoku.jp>

定価 年500円

『全木連時報』の購読料は年会費に含まれています。

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

## 展示会開催とリース事業の拡充

### 新技術や革新性を重視

### 14年度補正予算で全木協連が実施

一月三十日に成立した政府の補正予算には、木材業界への手厚い施策が盛り込まれている。年度当初は補正はないとアナウンスされていたが、ここに至り実現。当会関係では、地域材を活かした新事業・起業創出緊急対策事業(「展示会事業」)、地域木材産業革新事業者対策リース促進事業」に新たに取組むこととなった。内容は展示会の開催とリース事業の拡充。実施主体は全木協連。

### 6月にさいたまと大阪で展示会

#### 地域材の新商品開発など 実用的な効果を期待

展示会は、六月十四・十五日に「大阪ドーム」で、また、六月二十一・二十二日に「さいたまスーパーアリーナ」で開催する。今回のテーマは、木材産業における創業・新規開業を促進する一助として、新技術・新製品に関する情報を展示し、技術移転やその実用化を支援すること。これにより、少しでも中小企業の活性化に役立ててもらいたい。前回までとは一味違った展示会になりそう。もちろん、広く一般の消費者に対

しても、木材への理解を深めてもらい、木材利用の拡大を通じて地域木材産業の活性化もはかる。新技術、新製品の具体例としては、不燃材、ホルムアルデヒド放散量の低い建材による内装材、バイオマスエネルギー関係などが考えられる。主催者となる全木協連では、早速、企画運営のための委員会を設置して、具体案を検討中である。詳細は、追って決まる予定だが、さいたま会場における、新技術、

目次

- 一面 今年度補正関連事業「展示会開催とリース事業の拡充
- 二面 JAS審査進む 事務局担当者会議開く シンボルマーク検討開始 お知らせ
- 三面 JAS展示会入賞工場決まる 新設住宅着工数は百十五万戸
- 四面 景況調査 訃報

新製品の展示は、主に日本住宅・木材技術センターが担当し、これまでに採択してきたプロジェクトの成果が主体となる。また、木の良さ、おもしろさの展示は、日本木材総合情報センター等が行い、各都道府県木連ことの出展も行う。それ以外の催事についても行う

### リース事業は

#### 革新的な設備導入を助成

木材事業所が、リースを利用し乾燥設備などを導入する場合には、リース料の一部を助成する事業は人気が高く、予算の拡充が求められていたが、今回の補正予算では「地域木材産業革新事業者対策」として成立した。

創業・新規開業など革新的な事業への取組により木材産業の構造改革を加速することがねらい。事業の仕組みは通常のリース事業と同じだが、設備導入の目的として革新性が必要。事業の趣旨からみても、単なる

設備投資ではなく、国産材の振興と木材産業の構造改革ははずせないところ。ここに重点を置いて申請を採択していく。対象となる設備は、乾燥機や焼却炉など。設備ごとに定められたリース期間中、付加リース料の一部を助成する。申請は、審査会の論議を経て採択することとなっている。リースは、まとまった設備資金が不要、資金の借入れを要しない等、最近の金融事情もあり、見直されてきている。

### JAS認定審査進む 今年度は99工場の見込み

新JAS制度への全面移行を目前にして、新規認定・旧認定工場からの切り換えの申請が徐々にあるが、出されるようになった。認定機関である全木連は、連続的に審査委員会を開催して、申請を審査に付しているが、今年度三月までの承認は、九十九工場、百二件の見込みである。

内訳は、製材関係が九十一(うちAタイプ一)、人工乾燥が一(同一)、機械等級区分が一(同一)、保るものと思われる。

### 全木連・全木協連合同 事務局担当者会議開く

全木連と全木協連は二月二十日に東京・虎ノ門パストラルで合同の事務局担当者会議を開き、平成十五年度政府施策や全木連・全木協連の事業計画(案)などについて検討した。

これは各都道府県木協連等から事務局担当者が出席して、毎年この時期に行っているもの。会議は、久我全木連会長の挨拶

### シンボルマークの検討開始

本紙十二月号既報のとおり、全木連では、創立五十周年記念事業の一環として、木材産業シンボルマークを広く募集することとして

は次のとおり(敬称略、順不同)。  
委員長 岡智(日刊木材新聞社社長)、委員 小松吉昭(福島県木連会長)、財満やえ子(東京造形大学教授)、細川潤(アセット婦人画報社モダンリビング編集長)、平田好(アートディレクター)、有田芳子(全国消費者団体連絡会環境問題担当事務局長)、後藤武夫(日本木材総合情報センター専務)、田代功(日本木材青壮年団体連合会広報委員長)、松村茂(ウッドライク・マツムラ社長)、星野弘良(東京材木商協同組合専務)、後藤隆一(全木連副会長)

### マンションリフォーム講習会開く プレカット協会

全国木造住宅機械プレカット協会は、東京と名古屋で、需要者を対象にマンションのリフォームに関する講習会を開く。木材や業者の選択、工事にあつての近隣の配慮、ガス水道等のインフラ工事などについて、それぞれの専門家が講義する。マンションの内装木質化によるリフォームが盛んであるが、受注する工務店は、従来積極的には対

### 「ホワイトくん」などの斡旋価格を値下げ

全国木材協同組合連合会

当会が販売斡旋を行っている商品名「ホワイトくん」をはじめ加州テクノ社製品について、平成15年1月から、当会斡旋価格を大幅に引き下げ、定価の25%引きにいたしました。これを機会に、ぜひ当会の斡旋事業をご利用くださいますようお願い申し上げます。ご利用の折は、必ず所属の都道府県木協連等を通じてお申し込みください。

主な商品の価格表

品名	容量(10リットル)	用途等
ホワイトくん	38,000円	木材保護剤 変色防止
ウディくん	26,400円	防腐剤
ライトくん	23,800円	材色の活性 杉黒心除去
カビノン	22,800円	カビなどの汚れ除去
スカットくん	21,000円	木材の手アカ汚れなどの除去
フォレストミューズ	24,000円	消臭、防腐、空気浄化

- ・容量10リットルのほか5リットル、20リットルがございます。
- ・都道府県木協連を通じて注文された場合に、この価格から25%引きになります。

# JAS展示会入賞工場決まる

昨年八月から十月にかけて、全国の七市場で開催された今年度のJAS製材品普及推進展示会(第三十回)の受賞工場がこのほど決定した。

このうち、主催三団体特別賞、農林水産大臣賞、農林水産省総合食料局長賞、林野庁長官賞については、二月二十五日に東京で表彰式を行い、他の主催各団体の会長賞は、開催市場で伝達する。

受賞JAS工場は次のとおり。

注(一)内は工場所在都道府県。順不同。

## 主催三団体特別賞

株式会社オオコーチ(三重)  
 銘建工業株式会社(岡山)

## 農林水産大臣賞

伊藤林産有限公司(岐阜)  
 株式会社西村木材店(三重)  
 株式会社田上材木店(三重)  
 宮川森林組合(三重)

## 総合食料局長賞

中勢林業株式会社(三重)  
 株式会社オカベせい材(福島)  
 合資会社中村木材工業所(長野)  
 菊地木材有限公司(愛媛)  
 有限会社勝野材木店(長野)  
 中勢森林組合(三重)  
 セイキ林業株式会社(岡山)

加茂木材株式会社(岡山)  
 土井木材株式会社(岡山)  
 河井林産株式会社(岡山)  
 有限会社松島木材センター(熊本)  
 株式会社佐藤林業(熊本)

## 林野庁長官賞

株式会社安西製材所(岩手)  
 久万広域森林組合(愛媛)  
 フジタ産業株式会社(北海道)  
 協和木材株式会社(福島)  
 株式会社ヤゲタ(栃木)  
 岡崎木材株式会社(北海道)  
 株式会社沓澤製材所(秋田)  
 中島木材商事株式会社(北海道)  
 株式会社高橋木工場(北海道)  
 小牧木材株式会社(三重)  
 株式会社丸七ヒタ川ウッド(岐阜)

## 全木連会長賞

坂本商店(奈良)  
 兼八林産有限公司(岐阜)  
 株式会社山幸材木店(愛知)  
 有限会社嶋田屋製材所(岐阜)  
 株式会社ウッドピア21(三重)  
 大谷木材(三重)  
 松井製材(三重)  
 株式会社鈴鹿製材所(岡山)

有限会社半田製材所(熊本)  
 合資会社古賀製材所(福岡)  
 株式会社ザイソー橋口(熊本)  
 株式会社西村(鹿児島)  
 日進木材工業株式会社湯前(熊本)

## 全市連会長賞

鶴居産業株式会社(愛媛)  
 株式会社コマバ(北海道)  
 木脇産業株式会社(宮崎)  
 ショウエイ木材有限公司(岐阜)  
 有限会社倉地製材所(岐阜)  
 有限会社藤村製材所(三重)  
 浜田商店(三重)  
 製材所(三重)  
 院庄林業株式会社(岡山)  
 日進木材工業株式会社(鹿児島)  
 椎葉森林株式会社(熊本)  
 有限会社第一木材(熊本)  
 天草地域森林組合(熊本)

## 全買連会長賞

紋別林産加工協同組合(北海道)  
 斎藤木材有限公司(三重)  
 株式会社佐藤製材所(大分)  
 株式会社梅田製材所(岐阜)  
 西川智商店(三重)  
 植村材木店(三重)  
 下出木材(三重)  
 小林製材株式会社(岡山)  
 有限会社岸本木材店(宮崎)  
 榎本産業株式会社(熊本)  
 西都児湯地区素材生産事業協同組合(宮崎)  
 有限会社松永製材所(熊本)  
 江田製材所(大分)

# 平成14年の新設住宅着工 115万戸にとどまる 目立つ持家の減少

## 平成14年 新設住宅着工量

区分	着工量	前年比
総数	1,151,016 戸	-1.9%
持家	367,974 戸	-4.9
貸与	450,092	+2.7
給分	9,008	-7.8
民間資金	323,942	-4.4
公的資金	876,671 戸	+8.8
木造	274,345	-25.5
床面積	503,761 戸	-3.6
プレハブ	104,763 千㎡	-4.6
2×4	160,871 戸	-2.7
	78,988	+2.3

平成十四年の新設住宅着工数は前年比一・九%減少の百十五万一千六百戸と、前年に続いて百万戸台にとどまった。現在の経済情勢から予想されたこととはいえ、先行きの厳しさが懸念される数字である。

持ち家は、前年比四・九%減の三十六万七千九百七十四戸と、さらに厳しい結果となった。戸建住宅が伸びなやみ、建て売り等の分譲住宅も年後半は不振が目立つようになり、前年比四・四%減の三十二万三千九百四十一戸となった。ともに木造住宅のテリトリーであるため、木造住宅は前年比三・六%減の五十三万三千七百六十一戸と目立つ持家の減少

前年比増加を示したのは、貸家であり、前年比一・七%増加の四十五万九千二百戸である。低金利を背景に堅調であったといわれるが、これもややペースダウンしてきている。

貸家は昨年伸びを示している。また、一昨年は、分譲が伸び、その前年は、持家が伸びて、それぞれその年の着工量全体の下支えをしてきている。このように年ごとにならぶ傾向が、最近の傾向であるが、息が短く、長続きしないところは景気の動向によっているのである。

平成十四年の着工数を過去と比較

景況調査 = 全木協

1月分集計表 ( )内は実数

〔流通部門〕

モニター数131 回答数83 回収率63%

当月の状況

販売量	増加12% (10)	変わらず31% (26)	減少57% (47)
仕入量	増加10% (8)	変わらず35% (29)	減少55% (46)
販売価格	上昇4% (3)	変わらず88% (73)	下降8% (7)
仕入価格	上昇8% (7)	変わらず84% (69)	下降8% (7)

来月の見通し

販売量	増加24% (20)	変わらず64% (53)	減少12% (10)
仕入量	増加22% (18)	変わらず61% (51)	減少17% (14)
販売価格	上昇5% (4)	変わらず88% (73)	下降7% (6)
仕入価格	上昇7% (6)	変わらず86% (71)	下降7% (6)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	9% (6)	80% (56)	11% (8)
南洋材	5% (3)	84% (55)	11% (7)
北洋材	11% (7)	81% (52)	8% (5)
国産材	11% (8)	67% (46)	22% (15)
建材	6% (4)	72% (46)	22% (14)

乾燥材取引への関心度	高い 48% (37)	ほどほど 52% (40)	低い 0% (0)
------------	----------------	------------------	--------------

〔製造部門〕

モニター数114 回答数59 回収率52%

当月の状況

販売量	増加5% (3)	変わらず31% (18)	減少64% (38)
仕入量	増加5% (3)	変わらず44% (26)	減少51% (30)
販売価格	上昇5% (3)	変わらず90% (53)	下降5% (3)
仕入価格	上昇19% (11)	変わらず74% (44)	下降7% (4)

来月の見通し

販売量	増加27% (16)	変わらず48% (28)	減少25% (15)
仕入量	増加20% (12)	変わらず51% (30)	減少29% (17)
販売価格	上昇2% (1)	変わらず93% (55)	下降5% (3)
仕入価格	上昇7% (4)	変わらず85% (50)	下降8% (5)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	9% (3)	73% (24)	18% (6)
南洋材	0% (0)	88% (15)	12% (2)
北洋材	27% (8)	57% (17)	16% (5)
国産材	16% (7)	59% (26)	25% (11)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内 92% (22)	1ヵ月 8% (2)	1ヵ月以上 0% (0)
---------------	-------------------	---------------	-----------------

較すると、昭和五十八年に次ぐ低水準であるが、昭和五十年台の後半は毎年百十万户台で推移していた。従って、平成十四年の着工量が特別に悪いということにはならないが、にもかかわらず、木材需要の減少感が、それ以上に強いのは、工法、部材の多様化といった構造的な変化があるためであり、それへの対応がより重要になっている。

木造住宅のシェアは、大きな変化はないが、毎年確実に減少傾向を示している。

次に、資金関係別に見ると、民間資金は、前年比八・八%の増加であったが、公的資金は二十五・

寒川隆一氏逝去

元全木連副会長、元全木協理事、広島県木連相談役の寒川隆一氏は、二月五日ご逝去された。享年八十九歳。

葬儀は、三月七日に「アステールプラザ」広島市中区加古町四一七)で執り行われる。喪主は長男の起佳氏。

五%減と大きく減少している。これが持家など個人用住宅の減少に関係している。

また、床面積は、前年比四・六%の減少と、戸数に比べて減少幅が大きい。これも最近の傾向である。

浦塚工氏逝去

本会の元総務部長浦塚工氏は、二月八日ご逝去された。享年七十四歳。

葬儀は、二月十七日に執り行われた。喪主は妻のトシ子氏。自宅は、埼玉県さいたま市根岸二一五一六。

昭和三十七年から全木連事務局に勤務し、草創期の全木連運営にたずさわり、以来平成五年まで総務部長として事務局を支えてきた。

お役に立ちます

林業・木材産業信用保証

平成14年4月から推進資金の貸付利率が下がりました。

(例 旧2.1% 新1.5%)

詳しくは、当基金、都道府県林務担当課、関係団体の当基金相談員、もよりの金融機関へお問い合わせ下さい。

林材業専門の保証機関

農林漁業信用基金

後楽事務所(林業部門)

副理事長 高橋 勲

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12(林友ビル5階)

TEL 03(3813)5371 FAX 03(3812)8842

ホームページアドレス http://www.mmjp.or.jp/kikin

メールアドレス kanrisitu@tokyo.email.ne.jp